

久保田 賢一 名誉教授 略歴 (2020年3月31日)

1. 学歴

- 1973年3月 中央大学理工学部物理学科卒業
- 1986年6月 米国インディアナ大学大学院修士課程教育学部教育システム工学科修了
Master of Science in Education (教育学修士)
- 1991年9月 米国インディアナ大学大学院博士課程教育学部教育システム工学科修了
Ph. D. (主専攻：教育システム開発, 教育工学 副専攻：比較教育学)

2. 職歴

- 1973年4月 常葉学園菊川高等学校・教諭
- 1979年4月 常葉学園橘高等学校・教諭
- 1980年4月 青年海外協力隊・理数科教師 (フィリピン工科大学配属)
- 1982年11月 株式会社丸紅 (アルジェリア繊維公団配属)
- 1983年9月 財団法人国際協力サービスセンター・研修監理員
- 1984年7月 国際協力事業団・特別嘱託 (インディアナ大学)
- 1986年8月 財団法人国際協力サービスセンター・視聴覚技術コース主任講師 (JICA 沖縄国際センター配属)
- 1989年5月 インディアナ大学視聴覚センター・研究員
- 1991年12月 学校法人関西大学情報処理センター・嘱託
- 1992年4月 関西大学社会学部・非常勤講師
- 1994年4月 関西大学総合情報学部・助教授
- 1998年4月 関西大学総合情報学部・教授
- 2001年4月 英国レディング大学国際農村開発研究科・客員研究員
- 2010年2月 米国ハワイ大学教育学研究科・客員教授
- 2017年4月 関西大学・名誉教授
- 2020年3月 関西大学総合情報学部・定年退職
- 2020年4月 大阪経済法科大学・客員教授

研 究 業 績

著 書

- (1) 久保田賢一 (印刷中). 途上国の学びを拓く. 明石書店.
- (2) 久保田賢一, 山本良太, 岩崎千晶, 岸磨貴子 (2020). 大学のゼミから広がるキャリア：構成主義に基づく「自分探し」の学習環境デザイン. 北大路書房.
- (3) 久保田賢一, 今野貴之 (2018). 主体的・対話的で深い学びの環境と ICT：アクティブ・ラーニングによる資質・能力の育成, 東信堂.
- (4) 久保田賢一 (2017). 構成主義の視座からメディア・リテラシーを捉える, 中橋雄 (編著) メディア・リテラシー教育：ソーシャルメディア時代の実践と学び. 北樹出版.
- (5) 久保田賢一 (2016). ICTを活用した学習環境デザイン：21世紀に求められる能力の育成. 村田翼夫, 上田学, 岩槻知也 (編著) 日本の教育をどうデザインするか. 東信堂.
- (6) 久保田賢一 (2014). 高等教育を取り巻く環境の変化を考える, 大学と社会をつなげるプロジェクト学習のデザイン. 岩崎千晶 (編著) 大学生の学びを育む学習環境のデザイン：新しいパラダイムが拓くアクティブ・ラーニングへの挑戦. 関西大学出版部.
- (7) 久保田賢一, 時任隼平 (2014). 参加型手法を取り入れた防災教育：中学生の被災地での体験学習の事例より. 関西大学経済・政治研究所 子どもの安全とリスク・コミュニケーション研究会 (編) 子どもの安全とリスク・コミュニケーション. 関西大学出版部.
- (8) 久保田賢一 (2013). それは洞窟から始まった：情報とメディアの歴史, 日本教育メディア学会 (編集) 『博物館情報・メディア論』 ぎょうせい.
- (9) 久保田賢一 (2013). 高等教育におけるつながり・協働する学習環境デザイン：大学生の能動的な学びを支援するソーシャルメディアの活用. 晃洋書房.
- (10) 久保田賢一 (2013). 教育の情報化：知識基盤社会に生きる市民を育てる, 村田翼夫・上田学 (編著) 現代日本の教育課題：21世紀の方向性を探る. 東信堂, 293-319.
- (11) 久保田賢一, 岸磨貴子 (2012). 大学教育をデザインする：構成主義にもとづいた教育実践. 晃洋書房.
- (12) 久保田賢一, 中橋雄, 岩崎千晶 (2008). 映像メディアの作り方：情報発信者のための制作ワークブック, 北大路書房.
- (13) 久保田賢一, 鄭仁星, 鈴木克明 (2008). 最適モデルによるインストラクショナルデザイン：ブレンド型eラーニングの効果的な手法, 東京電機大学出版部.
- (14) 久保田賢一, 水越敏行 (2008). ICT教育のデザイン. 日本文教出版.
- (15) 久保田賢一, 浅野英一 (2007). ライフストーリーでつづる国際ボランティアの歩き方, 国際協力出版会.
- (16) 久保田賢一, ジュン・インソン, ラ・イルジュ, 寺嶋浩介 (2006). 遠隔教育とeラーニング, 北大路書房.

- (17) 久保田賢一 (2005). NGO の役割と動向. 内海成治 (編著)「国際協力論を学ぶ人のために」. 世界思想社.
- (18) 久保田賢一 (2005). ライフワークとしての国際ボランティア. 明石書店.
- (19) 久保田賢一 (2004). 教育改革への期待. 黒上晴夫 (編著) 高次な思考力育成を目指して：教育改革の流れを読む. 関西大学出版部.
- (20) 久保田賢一 (2004). 情報とボランティア. NGO 活動教育研究センター (編) ケースからみるボランティア入門：ボランティアが拓くグローバル社会. トウエンティワン出版部.
- (21) 水越敏行, 久保田賢一, 黒上晴夫 (2003). ICT 教育の実践と展望：デジタルコミュニケーション時代の新しい教育. 日本文教出版.
- (22) 久保田賢一 (2003). 「市場」から「コミュニティ」へ：これからのFDモデルとガイドライン. 山地弘起, 佐賀啓男 (編著). 高等教育とIT：授業改善へのメディア活用とFD. 玉川大学出版部.
- (23) 久保田賢一, 三輪勉 (2002). 遠隔学習の新しい可能性とは. 水越敏行 (編著) メディアとコミュニケーションの教育. 日本文教出版.
- (24) 久保田賢一 (2002). 西アフリカでの開発ワーカーの実践. 齋藤文彦 (編著) 参加型開発：貧しい人々が主役となる開発に向けて. 日本評論社.
- (25) 久保田賢一, 水越敏行 (2002). デジタル時代の学びの創出：多様化する教育実践と学習環境デザイン. 日本文教出版.
- (26) 久保田賢一 (2000). 仮想と現実の区別への対応. 赤堀侃司 (編集) 学校管理者スキルアップ講座：身につけたいパソコン活用能力. 教育開発研究所.
- (27) 久保田賢一 (2000). 韓国における多様なメディア教育. 笹井宏益, 山本慶裕 (編著) メディアと生涯学習. 玉川大学出版部.
- (28) 久保田賢一 (2000). 構成主義パラダイムと学習環境デザイン. 関西大学出版部.
- (29) 久保田賢一 (2000). 新しい学習スタイルとマルチメディア教材. 水越敏行 (編著) メディアを生かす授業作り. ぎょうせい.
- (30) 久保田賢一 (2000). 遠隔学習の可能性とそのリテラシー. 水越敏行 (編著) メディアリテラシーを育てる. 明治図書.
- (31) 久保田賢一 (1999). 開発コミュニケーション：地球市民によるグローバルネットワークづくり. 明石書店.
- (32) KUBOTA, K. (1991). Developing an Alternative Learning Environment; A Constructivist View. Indiana University.

翻 訳

- (1) モーザ, C. (著), 久保田賢一, 久保田真弓 (共訳) (1996). ジェンダー・開発・NGO：私たち自身のエンパワーメント. 新評論.

学術論文（査読あり）

- (1) 渡辺菜月, 山本良太, 今野貴之, 久保田賢一 (2020). 総合的学習における児童主体の学習活動を設計する教師の試行錯誤過程. 日本教育工学会論文誌, 43 (Suppl.), 141-144.
- (2) 鳥井新太, 上館 (山口) 美緒里, 久保田賢一 (2020). フィリピンの小学校教師による授業設計の問題. 日本教育工学会論文誌, 43 (Suppl.), 93-96.
- (3) Kubota, K. (2019). International Collaborative Learning in Authentic Environment: How Can Students Learn Actively through Collaborative Projects? International Conference for Media in Education, 477-481.
- (4) 上館 (山口) 美緒里, 久保田賢一 (2018). バングラデシュ国の思考力を育成する授業実践に関する事例研究: 小学校における改訂教科書の利用に着目して, 日本教育工学会論文誌, 41 (Suppl.), 209-212.
- (5) 三宅貴久子, 久保田賢一, 黒上晴夫, 岸磨貴子 (2018). 教師と児童の共同によるルーブリック作成の意味: 第4学年児童のイメージマップ分析から, 日本教育工学会論文誌, 41 (Suppl.), 221-224.
- (6) 三宅貴久子, 岸磨貴子, 久保田賢一, 李克東 (2017). 中国における思考力育成に対する教師の意識の検討: —シンキングツールの活用を事例として—. 日本教育工学会論文誌, 40 (Suppl.), 53-56.
- (7) 塩谷京子, 小谷田照代, 萩田純子, 堀内典子, 堀田龍也, 久保田賢一 (2017). 情報活用スキル育成のための授業に対する児童生徒および教員の意識に関する調査: 小中9年間を見通した体系表をもとに, 学校図書館学研究, 19, 80-88.
- (8) 山本良太, 久保田賢一, 岸磨貴子, 植田詩織 (2017). 支援学校教師の主体的な行動を促す外部人材との連携に関する研究: テレプレゼンスロボットの活用を事例として, 教育メディア研究, 第24巻 1号, 89-104.
- (9) 三宅貴久子, 岸磨貴子, 久保田賢一, 李克東 (2017). シンキングツール導入4年後にみられた中国の授業実践の評価: 相互行為の視点から組織化に着目して, 教育メディア研究, 第24巻 1号, 43-55.
- (10) Kimura, M., Kimura, B., Kubota, K., & Ho, C. (2016). Kansai-Hawaii Collaborative Video Project: Student-Centered, Authentic and Project Based Learning, *International Journal for Educational Media and Technology*, Vol.10, No.1, 11-17.
- (11) Ho, C., Kimura, B., Kimura, & Kubota, K. (2016). From Konnichiwa to Aloha: A collaborative video project, STEM-ATEM-ICEM Joint International Conference 2016, 105-106.
- (12) Kubota, K., Kimura, B., Kimura, M., Kuntz, W., Goya, K., & Torii, A. (2016). Curriculum Design for International Collaborative Place-based Learning: An Exchange Program between American and Japanese Undergraduate Students, *Proceedings of the 14th International Conference on Media in Education 2016*.

- (13) 塩谷京子, 堀田龍也, 久保田賢一 (2015). 初等教育における学校図書館の学習環境の改善: 情報活用スキルを育成するための環境整備の要件, *教育メディア研究*, 第22巻 1号, 1-12.
- (14) 浅井和行, 中橋雄, 黒上晴夫, 他, 久保田賢一 (2014). 専門書が実践報告を通じて伝えているメディア・リテラシーのイメージ: 初等教育における実践事例に焦点を当てて. *日本教育工学会論文誌*, 37(4), 505-512.
- (15) Kubota, K., Miyake, K., Kishi, M., & Kedong, L. (2014). Collaborative Research on Teaching Higher Order Cognitive skills at Japanese and Chinese Elementary Schools, *Proceeding of International Conference for Media in Education*, 1-6.
- (16) 時任 隼平, 久保田賢一 (2013) 卒業生を対象とした正課外活動の成果とその要因に関する研究, *日本教育工学会論文誌*, 36(4), 393-405.
- (17) 山本良太, 今野貴之, 岸磨貴子, 久保田賢一 (2012). 海外フィールドワークにおける学習を促す要因の検討: 協働する他者との関わりに注目して. *日本教育工学会論文誌*, 36 (Suppl.), 213-216.
- (18) 遠海 友紀, 岸 磨貴子, 久保田賢一 (2012). 初年次教育における自律的な学習を促すルーブリックの活用, *日本教育工学会論文誌*, 36 (Suppl.), 209-212.
- (19) Konno, T., Kishi, M., & Kubota, K. (2012). The Conflict and Intervention in an Educational Development Project: Lesson Study Analysis Using Activity System in Palestinian Refugee Schools, *Japan Society for Educational Technology*, Vol. 35 No. 1-2, 43-52.
- (20) 久保田賢一 (2012) メディア概念の拡張とこれからの「教育メディア研究」: 社会文化的アプローチによる研究方法論再考. *教育メディア研究*, 第18巻 1/2 合併号, 49-56.
- (21) 岸磨貴子, 久保田賢一 (2012) 生徒の意識の変容を促す海外との交流学习のデザイン——青年海外協力隊員との交流学习の事例から——. *異文化間教育*, Vol. 35, 118-133.
- (22) 西尾 三津子, 久保田賢一 (2011) ボリビアにおける授業研究の実践と教師の意識変容, *日本教育工学会論文誌*, 35 (Suppl.), 89-92.
- (23) 時任隼平, 久保田賢一 (2011) 高等学校におけるティーチングアシスタント経験がもたらす教師の授業力量形成への影響とその要因. *日本教育工学会論文誌*, 35 (Suppl.), 125-128.
- (24) 今野 貴之, 岸 磨貴子, 久保田賢一 (2011). 活動理論から見た知識生産の新しい様式とその実践. *日本教育工学会論文誌*, 35 (Suppl.), 173-176.
- (25) 今野貴之, 岸磨貴子, 久保田賢一 (2011) 教育開発プロジェクトにおける葛藤と介入: パレスチナ難民の学校における授業研究の活動システム分析より, *日本教育工学会論文誌*, 35(2), 99-108.
- (26) 久保田賢一 (2011) ICTが育む探究型学習, *教育と医学*, 59(2), 144-152.
- (27) 岸磨貴子, 久保田賢一 (2011). 教育開発における技術移転の問題に関する考察: ミャン

- マーの教育大学を事例として. 京都外国語大学研究論叢, (77), 29-45.
- (28) Tokito, J., & Kubota, K. (2011). Practice teaching in Japan: The literature reviewing and the qualitative analysis of the semi-structured interview, *ED-Media 2011*.
- (29) Ho, C., Kimura, B., Kimura, M., & Kubota, K. (2011). Cross-Cultural Collaboration Through a Virtual Community of Practice Using Video and Social Networking, *ED-Media*.
- (30) 今野貴之, 黒上晴夫, 久保田賢一 (2010) 教育開発プロジェクトにおける学校を基盤とした授業研究の促進要因, 日本教育工学会論文誌, 34 (Suppl.), 89-92.
- (31) 山室公司, 久保田賢一 (2010). 日本教育工学会論文誌の研究動向に関する考察: 研究方法と研究対象からみた分析. 日本教育工学会論文誌, 34 (Suppl.), 1-4.
- (32) Kubota, K. (2010). Strengthening learner-centered approach (LCA) in Myanmar primary school teacher training: can initial practices of LCA be seen? *International Journal for Educational Media and Technology*, 4 (1): 46-56.
- (33) Nu Nu Wai, N. N., Kubota, K., & Kishi, M. (2010). Strengthening Learner-Centered Approach (LCA) in Myanmar Primary School Teacher Training: Can Initial Practices of LCA Be Seen? *International Journal for Educational Media and Technology*, 4 (1): 46-56.
- (34) Yamamoto, R., Kubota, K. (2010). Designing Collaborative Learning Environment in Higher Education, *International Journal for Educational Media and Technology*, 4 (1): 37-45.
- (35) 岸磨貴子, 久保田賢一, 盛岡浩 (2010) 大学院生の研究プロジェクトへの十全的参加の軌跡, 日本教育工学会論文誌, 33(3), 251-262.
- (36) ICTを媒介とした国際間協同物語制作学習による異文化理解, 岸磨貴子, 三宅貴久子, 久保田賢一, 黒上晴夫, 日本教育工学会論文誌, 33 (Suppl.), 161-164.
- (37) 久保田賢一 (2009). 教育学分野における質的研究, 質的心理学フォーラム, No.1, p.88-100.
- (38) 今野貴之, 岸磨貴子, 久保田賢一, 箕浦康子 (2009). 国際教育協力プロジェクトにおけるメディア活用を目指した教員研修: シリア・パレスチナ難民の学校での事例, 教育メディア研究, 第16巻 1号, 19-27.
- (39) 西尾三津子, 久保田賢一 (2009). 子どもの能動的な学習を促すメディアとしての黒板技術: ボリビア国への技術移転を通して, 教育メディア研究, 第15巻 2号, 65-82.
- (40) 浅井和行, 久保田賢一, 黒上晴夫 (2009). イギリス・カナダ・オーストラリアにおけるメディア・リテラシー教育カリキュラムの比較研究. 教育メディア研究, 第15巻 2号, 35-50.
- (41) 岸磨貴子, 久保田賢一 (2009). メディアを活用した交流学习が与える影響: 青年海外協力隊員とのメール交換を事例に. 教育メディア研究, 第15巻 2号, 1-14.
- (42) 岩崎千晶, 久保田賢一, 冬木正彦 (2008). LMSの活用事例からみる授業改善の試みと組織的支援, 教育メディア研究, 第14巻 2号, 1-10, 2008-03.

- (43) 久保田賢一, 岩崎千晶, 水越敏行 (2008). 組織的な教員支援としてのスチューデント・アシスタントの効果と課題. 日本教育工学会論文誌, 32 (Suppl.), 77-80.
- (44) 岡野貴誠, 久保田賢一 (2006). 電子掲示板に見る大学生のメディアに対する意識変容の過程とその要因の分析. 教育メディア研究, 第12巻 2号, 1-16.
- (45) 岡野貴誠, 久保田賢一 (2006) 映像制作を支援するウェブ教材の評価. 教育メディア学会, 第12巻, 第1号, 43-55.
- (46) 内垣戸貴之, 中橋雄, 浅井和行, 久保田賢一 (2006). 教育工学における質的研究法に基づいた論文の分析. 日本教育工学会論文誌, Vol.29, No.4, 587-596.
- (47) 中橋雄, 大西元之, 岡野貴誠, 久保田賢一 (2006). DTP実習を支援するWeb動画教材の評価. 日本教育工学論文誌, 29 (supple.), 21-24.
- (48) 岩崎千晶, 久保田賢一 (2005) メディア・リテラシーを学ぶ学生の学習過程からみたメディアに対する概念の変容: 電子掲示板の質的な分析から. 教育メディア研究, 第11巻 2号, 57-65.
- (49) 中橋雄, 岡野貴誠, 久保田賢一 (2004) 異文化理解教育におけるデジタルメディア活用の実践研究. 教育メディア研究, 第10巻 2号, 31-37.
- (50) 寺嶋浩介, 亀井美穂子, 久保田賢一 (2003). 放送教育の役割と学習環境の変化. 教育メディア研究, 第9巻 2号, pp.55-59.
- (51) 久保田賢一 (2003). 構成主義が投げかける新しい教育. コンピュータ&エデュケーション, 15, 12-18.
- (52) 久保田賢一 (2003) 「総合的な学習」における異文化間教育: 学びのパラダイム転換. 「異文化間教育」アカデミア出版会, Vol.17, 12-25.
- (53) 赤堀正宣, 宇佐美昇三, 久保田賢一, A. パラシオス, 角替弘規 (2002). ベルー遠隔中学校におけるテレビ教材の効果調査. 教育メディア研究, 第8巻 2号, p.41-67.
- (54) 久保田賢一 (2001). インターネット活用における教育メディア研究の課題. 教育メディア研究, 第7巻 2号, 73-81.
- (55) 松田亜希, 久保田賢一 (1999). コンピュータ導入に伴う教師の意識と行動に関する質的調査. 教育メディア研究, 第6巻 1号, 67-76.
- (56) 久保田賢一 (1999). 関西大学におけるメディア制作教育の現状と課題. 教育メディア研究, 第4巻 2号, 2-3.
- (57) 堀江固功, 久保田賢一, 黒田卓, 吉田貞介, 市川晶 (1998). 大学における視聴覚・放送メディアの利用の現状と課題. 教育メディア研究, 第4巻 2号, 1-32.
- (58) 久保田賢一 (1997). 質的研究の評価基準に関する一考察: パラダイム論からみた研究評価の視点. 日本教育工学会論文誌, 21(3), 163-173.
- (59) 久保田賢一 (1995). 教授・学習理論の哲学的前提—パラダイム論の視点から. 日本教育工学雑誌, 18(1・2), 219-231.

- (60) 久保田真弓, 久保田賢一 (1995) フィリピンにおける NGO 活動: “開発と女性” の視点から. 国際開発研究, 第3巻, 147-154.
- (61) 久保田賢一 (1994). 転換期を迎えるヴェトナムの教育現状と課題. 国際協力研究, 10巻1号.
- (62) 久保田賢一 (1994). NGO 活動と女性のエンパワーメント: フィリピンの農村における貸し付けプログラム. 国際開発研究, 第3巻, 119-128.

学術論文 (査読なし)

- (1) 久保田賢一, 岸磨貴子, 時任隼平, 今野貴之, 山本良太, Wai Thida, PitaganFemand Bancaflor (2020). 日本の教育経験を活用した途上国への教育支援に必要な観点の構築: ミャンマー, フィリピン, カンボジアの事例分析を通して. 情報研究, vol.50, 11-31.
- (2) 大福聡平, 久保田賢一 (2020) NPO が支援するプロジェクト活動におけるデザインの要件: 神戸ソーシャルキャンパスを事例に. 関西大学高等教育研究 (11), 77-85.
- (3) Siddiquee, Muhammmad Nur-E-Alam, 久保田賢一 (2019) Comparison of the Interactive Classroom Cultures in Japan and Bangladesh, 情報研究, Vol.49, 15-20.
- (4) 岩崎千晶, 多田泰紘, 寺嶋紀衣, 佐々木楓, 古川智樹, 山田嘉徳, 池田佳子, 倉田純一, 久保田賢一, 中澤務 (2019) 高等教育におけるアカデミック・ライティング力の育成を目指した教育システムのデザイン. 関西大学高等教育研究, 第10号, 91-98.
- (5) 岸磨貴子, 久保田賢一 (2017). 大学のゼミ活動とキャリア形成: 卒業生のライフストーリーから. 情報研究, vol.45, 1-22.
- (6) Siddiquee, M. N. & Kubota, K. (2017). Issues on Implementing Lesson Study in Bangladesh Context. 情報研究, vol.47, 43-54.
- (7) 山本良太, 久保田賢一 (2015). 海外での社会貢献活動における協働を促すデザインの検討: 学生集団に注目した分析. 関西大学高等教育研究, 第6号, 45-56.
- (8) 今野貴之, 岸磨貴子, 久保田賢一 (2015) 途上国における日本の教育番組の二次利用の可能性と課題: ヨルダン, ウズベキスタン, フィリピンを対象として. 一般財団法人 放送番組国際交流センター, <http://www.jamco.or.jp/jp/symposium/23/3/>.
- (9) 岸磨貴子, 久保田賢一, 吉田千穂 (2015). JICA の大学連携プログラムを活用した短期海外研修の実践デザイン: セネガルでの実践事例から. 情報研究, 第42号, 25-46.
- (10) Kimura, M. E. O., Kimura, B. Y., & Kubota, K. (2014). Design and Evaluation of English Oral Communication Course at Kansai University, 情報研究, 第41号, p.41-59.
- (11) Kimura, B. T., Kimura, M. E. O., Ho, C., Kubota, K., (2014). ICT & Collaborative Learning, 情報研究, 第41号, 25-39.
- (12) 山本良太, 久保田賢一 (2013). 大学教育における異文化間の教育実践の課題と展望: 関西大学の実践を事例として. 電子情報通信学会技術研究報告: 信学技報112 (435), 75-78.

- (13) 久保田賢一 (2012). 構成主義パラダイムの学習理論, 情報研究, Vol.36, 43-55.
- (14) 久保田賢一, 時任隼平, 野口聡 (2012). 参加型手法を取り入れた高校での安全学習の実践: フィールドワークとクロスロード・ゲームを事例として, 関西大学経済・政治研究所研究双書 第155冊, pp.61-87.
- (15) 西尾三津子, 久保田賢一 (2011). 授業研究の導入による協働性の形成: ポリビアにおける教育開発の事例より, 情報研究, Vol.35, 33-51.
- (16) Rolluqui G., 久保田賢一 (2007). The Blended E-Learning Model for the Technological University of the Philippines. 情報研究, Vol.26, 87-110.
- (17) 久保田賢一 (2007). 国際交流学習とメディアリテラシー. 視聴覚教育61(1), 14-17.
- (18) 中橋雄, 戸田就介, 内垣戸貴之, 久保田賢一, 水越敏行 (2007). 中学校教育におけるICT活用の実践事例, 福山大学人間文化学部紀要, 福山大学人間文化学部紀要7, 23-32.
- (19) Kubota, K. (2007). "Soaking" Model for Learning: Analyzing Japanese Learning/Teaching Process from a Socio-Historical Perspective. 米国教育データベース ERIC ED498566.
- (20) 久保田賢一 (2006). 大学におけるメディアリテラシー教育. 視聴覚教育60(9), 78-82, 2006-09.
- (21) 宇佐美昇三, 赤堀正宜, 久保田賢一, アラベルト・パラシオス, 角替弘規 (2003). ヘルー遠隔教育中学校におけるテレビの教育効果の調査報告, 駒沢女子大学研究紀要10, 31-52.
- (22) Kubota K. & Watanabe, R. R. (2003). Distance Secondary Education in Rural Latin America, 情報研究, No.19, 97-113.
- (23) 久保田賢一 (2003). アジア・オセアニアにおける教育の情報化: その多様性と放送教育への示唆, 財団法人 日本放送教育協会.
- (24) 片岡昇, 久保田賢一 (2001). 高等教育における遠隔教育の概要とその実践: 歴史的視点と事例研究を題材として. 情報研究, Vol.15, 39-70.
- (25) 久保田賢一 (2001). メディア活用における問題分析と教員支援としてのFD. 高等教育におけるメディア活用と教員の教授能力開発—IV. メディア活用する教員支援のための提案— メディア教育開発センター研究報告, 26, 147-159.
- (26) 川端千晶, 久保田賢一 (2000). 遠隔講義における電子会議室の活用状況の分析. 情報研究, Vol.12, 25-53.
- (27) 久保田賢一 (1998). 開発コミュニケーション: その理論と実践. 情報研究9号, 23-51.
- (28) 久保田賢一 (1996). インターネットを利用したコミュニケーション: 電子メールとビデオ会議を利用したハワイとの交流活動, 情報研究, Vol.5, 41-65.
- (29) Kubota K. (1996). Literacy Campaign and Pedagogy of Paulo Freire: A Comparative View on Literacy Campaign in Brazil Nicaragua Tanzania and Guinea Bissau., 情報研究, Vol.3, 67-83.

- (30) Kubota, K. (1995). Literacy Campaign and International Cooperation: Policy Analysis of Adult Literacy in Tanzania, 情報研究, Vol.1, 67-92.
- (31) 久保田賢一 (1993). グループウェアを利用した一般教育：これからの一般教育におけるコンピュータ活用についての一提案. 関西大学一般教育センター報, 第17号.
- (32) 東村高良, 久保田賢一 (1993) 電子会議室を活用した教育手法：コンピュータ・ネットワーク利用による情報処理教育の実際. 関西大学情報処理センターフォーラム, No.7.
- (33) 東村高良, 久保田賢一 (1992). 大学におけるコンピュータ支援コミュニケーションの教育的活用：コンピュータネットワークを利用した教育活動の可能性. 関西大学社会学部紀要24(1), 47-70.
- (34) Edmund Hansen, 久保田賢一 (1992). コンピュータネットワークを利用したグループ学習支援に関する基礎的研究. 電気通信普及財団研究報告集, No.6.
- (35) Kubota, K. (1991). Applying a Collaborative Learning Model to a Course Development Project. 米国教育データベース ERIC ED 311 490.
- (36) 上原盛文, 大隈紀和, 内海成治, 久保田賢一, 山城吉徳, 鳥袋和子, 知念潤 (1990). パソコン通信を利用した帰国員のための支援活動についての基礎的研究. 電気通信普及財団研究報告集, No.4.

その他

- (1) 久保田賢一 (2004) 「遠隔教育」「電子図書館」日本教育方法学会 (編) 現代教育方法学事典. 図書文化.
- (2) 久保田賢一 (2000). 「フィールド研究」, 日本教育工学会編『教育工学事典』実教出版.
- (3) 久保田賢一 (1997). インターネットコミュニケーションと「新しい学び」：インターネット学習環境デザイン. 情報・メディア・ネットワーク：研究報告書, 14.